

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



第1回 しまはち運動会

ロンドンオリンピックでの選手の活躍に、暑い・熱い夜を過ごされて寝不足気味の方も多いのではないでしょうか？オリンピックとまではいきませんが、当院でも6月30日(土)に第一回‘しまはち運動会’を開催しました。

運動会は丸1日かけて行われました。午前は通所の方を対象に、そして午後は運動会のコンセプトである「みんなで広げよう、友達のWA(輪)」ということで、当院の療育診療を受診している全ての方を対象に参加を募りました。運動会を企画するスタッフは「参加者が少なかったらどうしよう」と不安でした。なにせ運動会のポスターは[おかしつかみレース][輪投げ]と魅力に欠ける宣伝だったため(これは参加する方に合わせて競技の内容を考える事情もあってのことですが)、参加する人はあまりいないのでは…。

しかし、それはスタッフの杞憂に終わりました。運動会当日は46名の方が参加してくれました！一番下は2歳、一番上は30台後半と幅広い年齢層の方が台町市民センター体育館に集いました。プログラムは[午前の部 マルモリ体操・輪を和でつなぐ・WAになって踊ろう ドーン!・綱引きボン] [午後の部 おかしつかみレース・輪投げスタンプラリー・玉入れ・くす玉割り]という内容でした。

午前の部では、参加者・保護者・スタッフが一緒に

なってプログラムを楽しんでいました。[WAになって踊ろう]を皆で歌い、一体感が高まったのも束の間。楽しい雰囲気から一転して[ドーン!綱引きボン]では白熱した勝負が続きました。勝負ごとになると、どこからか負けたくない気持ちがメラメラと湧いてきてしまうようで、真剣勝負が何度も繰り広げられていました。

午後の部では、車椅子の人、歩く人、走る人に分かれる[お菓子掴みレース]から始まりました。競技は、いくつもの障害物を超え、その先にある紙に書いてあるものを近くの人に借りて、そしてゴールのお菓子(入浴剤の人もいます)をゲットするものです。保護者の皆さんはお子さんの写真を撮られる方が多く、走り回っていた子どもも写真を撮る時にはバッチリとポーズを決めていました。[輪投げスタンプラリー]では8つの輪投げゲームをクリアしてスタンプを集め、しまはちバッジ(スタッフお手製です)を手に入れます。特にトランポリンDE輪投げは多くの方が楽しまれていました。[玉入れ]で盛り上がり、そして最後は多くの方が集まった記念に[くす玉割り]をし、運動会は幕を閉じました。多くの方に笑顔が見られ、楽しんで頂けたものと思います。‘しまはち’では運動会に限らず、様々なイベントを企画していますので、是非ご参加下さい。

(リハビリテーション科 心理士 佐藤 匠)

通所科 活動紹介

外出

通所では利用者様に四季の移ろいやにぎやかな街の様子を肌で感じていただいたり、買い物へ外出しお店の人とのやり取りを楽しんだりしていただけるよう外出を企画しています。

今年度は、4月に近くの「富士森公園」に通所バスで向かい満開の桜を楽しんできました。満開の桜がきれいで目を奪われるのはもちろんのこと、桜並木沿いに並んだ露店の良い香りや露店のにぎわいなどにも鼻や目を奪われました。



大きなバナナを発見！

また、5月には「昭和記念公園」に遠足に出かけました。昭和記念公園ではポピーが満開とのことで楽しみにして向かいましたが、いざポピーを見に行こ

うとすると、「ゴロゴロゴロ」と雷鳴が響きわたり、急遽バスに戻りました。そこで雨天時に向かう予定であった「イオンモール日の出」へ向かい食事やお店を見て回り楽しみました。



菜の花畑もきれいでした

また、5月には数名の利用者様で小グループ外出として高尾山に行ってきました。ケーブルカーで高尾の山を登り、ミシュランの三ツ星に選ばれた景色やおいしい空気を堪能してきました。

他にも、通所では近隣のカラオケ店へ外出などの活動を行っています。

(通所科 大谷 聖信)

+

イト

ケ

ア

7月28日(土) 通所では「ナイトケア」を行いました。ご家族の皆様から花火を屋上で観たいという声にお応えし、今年は八王子花火大会の日程に合わせて行いました。



土曜日の通所ということで、少し緊張した表情の人やこの日を待ち望んで隠しきれない人もいらっしゃいましたが、午前中はのんびり体操を行いながら過ごし、体調を万全にして午後には備え、昼食後は、「日野BIG BAND倶楽部」のみなさんの演奏を楽しみました。皆さんの大好きなジブリメドレーやルパン三世などの知っている曲も多かったので大盛り上がりでした。素敵な演奏の余韻に浸っていると、そこにサプライズイベントが！！なんと地域の町内会の子どものお神輿と山車が登場。初めて見るお神輿に利用者様も大喜び、色々な方との交流も出来て大満足でした。



お腹にひびく太鼓の音



大きな太鼓でした！

メインイベントの花火はご家族も大勢参加され、楽しいひと時を過ごすことができました。皆さんで観た花火はとても大きく、皆さんの疲れを一気に吹っ飛ばしてくれるような花火でした。

お神輿や山車、地域の方との交流、バンドのみなさんの演奏や花火大会、普段味わうことが出来ないような経験をすることが出来ました。こんな素敵な行事を毎年行うことが出来たらいいなあと思われた誰もが思ったのではないのでしょうか。

(通所科 棚田 健一)

第1回 島はちセミナー (市民公開講座)

6月2日(土)に第1回島はちセミナー(市民公開講座)を北野市民センターで開催しました。島田療育センターはちおうじの利用者や市民の方など100名近くの方が参加されました。

「生きる喜びを、もっと -いのちについて考える-」をテーマに、小沢浩所長による「てんかんってなに?」、駒木野病院の笠原麻里先生による「ほめる子育てってなあに?」、宮城県拓桃医療療育センターの田中総一郎先生による「いのちを大切にすってどういうこと?」の3つの講演でした。

講演でとても印象に残った言葉を紹介いたします。

小沢所長からは、「てんかんはしっかり管理することで子ども達の生活を守ることができる」。

笠原先生からは、「子どもの目線でひとつひとつ一緒に考えてあげることが大切」、「人を信じること、人から信じられること、そのことが自信を持つることにつながる」。

田中先生からは、「人は愛される存在である」、「みんなは愛されるために生まれてきた」、「重い障害を持った子どもは特別な存在などではなく、1人の子どものとして普通にかわいがられることを、きっと子ども達は素直に喜んでくれるのではないか」。

3名の講師の講演を聞いて改めて「育てにくさ」

「生きにくさ」に寄り添い、子ども達のより良い環境作りを支援するために何が出来るか、何をすべきなのかを考える1日となりました。

(リハビリテーション科 理学療法士 黒川 洋明)

市民公開講座

いよるこ
生きる喜びを、もっと
-いのちについて考える-

2012年
6月2日(土) 12:25~16:00

12:25~ 開会あいさつ

12:30~ 「てんかんってなあに?」
小沢 浩 先生
島田療育センターはちおうじ 所長

13:40~ 「ほめる子育てってなあに? (仮)」
笠原 麻里 先生
駒木野病院 児童精神科診療部長

14:50~ 「いのちを大切にすって
どういうこと?」
田中 総一郎 先生
宮城県拓桃医療療育センター
小児科診療部長

会場 八王子市 北野市民センター
八王子市北野町545-3 きたのタウンビル7 8階
(北野駅北口徒歩1分 スーパーアルプス上)

共催：島田療育センターはちおうじ
プラス・スミス・オンライン株式会社
後援：八王子市、八王子市教育委員会
八王子医師会

職 場 紹 介

福祉相談科ってどんなところ?

第3回

福祉相談科は、療育相談の窓口であり、福祉的相談の窓口でもあります。3名のコーディネーターで担当しています。

療育診療は、電話で問い合わせを受け面談をして初回診療へ繋がるという流れです。原則ご家族からの申し込みで、お名前、年齢、住所、連絡先などを伺い、内容をざっとお聞きして、コーディネーター面談に来て頂きます。面談も予約制で1日5枠設けていますが見学案内や会議などで大体2~3枠となり、お電話いただいてから概ね3週間後の日程となります。

面談は、ご家族に来院して頂きカルテ作成と問診票の記入、ご本人についてのことや困っていらっしゃる事などを1時間位かけて伺います。この日に、医師の診察の日程を調整します。年齢、内容、ご家族の都合などを考慮していますが、神経小児科で4か月待ち、児童精神科で2か月待ちになってきて心苦しい限りです。せめて、この面談の中でご家

族の気持ちをサポートできればと思っています。

一旦、療育が開始されてもいろいろな問題が持ち込まれます。ご家族、ご本人の心配や不安、いろいろな相談の他、医師との連絡調整、学校、保育園、幼稚園などの関係機関との連携、愛の手帳、精神保健福祉手帳、手当、ショートステイなどの社会資源の紹介などがあります。また、在宅での療養のための医療物品のお渡し、補装具などの申請手続き、なども担当しています。

発達支援室としての窓口をかねているので、施設支援の受付から連絡調整、講習会準備、普段から結びつきの強い機関との年1回の交流会などの調整があります。

その他、見学案内やボランティアについての窓口も福祉相談科の重要な仕事のひとつで、どちらも随時受け入れをしています。

(福祉相談科 松山 容子)



八王子市台町4丁目納涼夏祭りに参加して

今年も7月28日（土）に台町4丁目町内会の納涼夏祭りがありました。「島はち」から所長をはじめ、職員有志が参加しました。夏祭り当日は土曜日でしたが、島はちの通所でナイトケアがあり、子ども会のお神輿とお囃子が「島はち」に来てくれたおかげで、地域の子もたちと通所利用者様が交流することもできました。町内の子もたちと通所利用者様が夏祭りのひとコマを共有することができ、お互いによい思い出になったと思います。夏祭り会場では、島田療育センター後援会に寄付して頂いた「綿菓子」の機器と新たに寄付していただいた「ポップコーン」の機器で夜店を出店しました。綿菓子やポップコーンが出てくる様子を見ながら、子どもたちだけでなく、職員も一緒に楽しむことがで



き、3時間ほどの間で合わせて273食売り上げることができました。微力ながら夏祭りを盛り上げる一助ができたと思います。他の夜店の方々から差し入れをいただき、こちらも綿菓子、ポップコーンのお返しをするなど、町内会の方々とも交流することができました。こうしたお互いの顔が見える関わりは大切にしていきたいと思います。「島はち」の理念である『「輪」を「和」でつなぐ』思いを持ちながら楽しく参加した夏祭りでした。

(リハビリテーション科 作業療法士 多辺田 俊平)

ほっといき

ちいちゃくてかわいい世田谷線。

下高井戸と三軒茶屋を結ぶ全長5Km程の住宅の間を走る小さな路線です。車両は、バスが2台後ろを結合したようなカッコウで2両でも普通の電車の1両より短いようなかわいい電車です。



スタイルは、スマートで運転席側は前向き座席、車掌側は後ろ向き座席とユニークでなかなかおしゃれな電車です。服装も色々あり、赤色、オレンジ色、黄色、紺色、青色、緑、クリーム色と緑のツートンカラー等とファッションにうるさい電車でもあります。走りは、スタイルとファッションのようにしとやかに踏切では力を抜いて静かに渡り、環七では車や人と同じように信号に従って走るかわいい電車です。運転手は料金の徴収もします。車掌さんは殆んど女性で地域住民に親しまれているかわいい電車です。

運転手、車掌さんは、勤務交代する上町駅では電車がホームを去るまで深々と頭を下げて見送ってくれます。沿道には、季節ごとの花が咲き、特にアジサイが咲き乱れる時期はアジサイの道を走っているようで楽しいですよ。

(医療検査室 放射線技師 高橋 克記)

おしらせ

information

【講座】

『就学に向けて～情報交換会 第二弾』
10/4 (木) 10:00～12:00

*先輩保護者のお話やグループ懇談会

- ◆場所…当センター ◆費用…1家族500円
- ◆お問合せ…042-634-8758

島田療育センターはちおうじ 小児診療



インフルエンザワクチンを10/23から行います。
(毎週火曜日14～15時、毎週金曜日15～17時)
*予約は9/24から行います。

その他 各種 予防接種を行っています。予約制となりますのでお電話でお問い合わせください。

診療内容

子どもがかかりやすい病気(発熱や嘔吐・下痢など)の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●		
13:45～14:45	予	予	予	乳	予		
15:00～17:00	●	●	●	●	●		

予…予防接種 乳…乳児健診

*土日他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

